

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌

剣道だより (KENDO Nagasaki)



会長挨拶・・・「剣道だより」発刊について (一財)長崎県剣道連盟会長 松尾博行

“春は名をみの風の寒さや” この歌が実感として感じられる今日この頃ですが、皆様には益々ご清祥でご練武の事とお喜び申し上げます。

会長職を仰せつかって二年近くが経過しました。この間、役員の方々を初め多くの皆様方の暖かいお心遣いに助けられ何かと大過無く過ごすことが出来ました。

ところで、数年間、諸般の事情により、広報委員の辞退が相次ぎ、高木広報委員、谷口広報委員 2 名を残すのみとなり、広報活動も停滞し、「剣報長崎」も惜しまれつつも休刊せざるを得なくなりました。その後は両氏の献身的なご協力により(一財)長崎県剣道連盟ホームページを利用しての情報提供を行って参りました。

そのような中で高木広報委員より、内容、発行部数、回数等は極小規模であるが広報誌を発行してはどうだろうかという嬉しい提案がありました。

会員間の意思疎通を最重要と考える県剣道連盟にとって非常に有難い提案であり即、お願いする事と致しました。

会員の皆様方には是非ご愛読頂くと共に、情報・ご意見等を積極的にお寄せ頂き、より充実した広報誌となりますようご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。これが「剣報長崎」復刊の契機にもなればと淡い期待も抱いています。谷口広報委員・高木広報委員両氏に心より感謝申し上げます。



<平成 29 年度 長崎県剣道連盟特別表彰>

本県剣道界の競技レベルは、第 72 回国民体育大会においても成年女子3位少年女子 4 位と、成年、少年共に全国トップレベルにあると言っても過言ではありません。選手の努力は、勿論ですが、強化等の指導者の献身的なご助力の賜物であり、心より、関係者の方々に敬意と感謝を申し上げます。今年度の長崎県剣道連盟特別表彰を掲載いたします。

| 番号 | 大会名 | 成績 | 個人又は団体名 |
|----|-------------------------------|----------------|--------------------------|
| 1 | 第 72 回国民体育大会 (愛媛大会) | 成年女子 第 3 位 | 山本杏里、野崎優花、福田美佐子 |
| 2 | 第 46 回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会 | 男子団体 優勝 | 長崎県立島原高等学校(男子団体) |
| 3 | 第 33 回魁星旗争奪全国高校剣道大会 | 女子団体 第 3 位 | 長崎県立島原高等学校(女子団体) |
| 4 | 第 64 回全国高等学校総合体育大会(宮城県) | 男子団体 準優勝 | 長崎県立島原高等学校(男子団体) |
| 5 | 第 59 回全国教職員剣道大会(埼玉県) | 高・大・教委準優勝 | 瓊浦高等学校(個人・宮崎東平) |
| 6 | 第 49 回全日本官公庁剣道大会(東京武道館) | 男子個人 第 3 位 | 佐世保刑務所(個人 中島大将) |
| 7 | 第 48 回全国高等学校定時制通信制剣道大会(日本武道館) | 女子個人 第 3 位 | 長崎県立佐世保中央高等学校(女子個人 中里七星) |

| | | |
|--|---|---|
| | | |
| <p>第 72 回国民体育大会選手団 成年女子 3 位・少年女子 4 位</p> | <p>第 59 回全国教職員剣道大会選手団 個人・宮崎東平 準優勝</p> | <p>第 46 回魁星旗争奪全国高校剣道大会 男子団体優勝 島原高校男子</p> |

平成 30 年度(前期 4 月~8 月) (一財)長崎県剣道連盟 主な年間事業計画及び行事予定

| 月 日 | 内 容 | 主催 | 場 所 |
|---------------|-------------------------|----------|-----------------|
| 4 月 8 日・15 日 | 伝達講習会 (長崎 8 日・佐世保 15 日) | 長崎市・佐世保市 | 県立総合体育館・長崎県立武道館 |
| 4 月 29 日(祝/日) | 第66回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 | 大阪市 | エディオンアリーナ大阪 |
| 5 月 12 日(土) | ねんりんピック県予選会 | 諫早市 | 小野体育館 |
| 5 月 13 日(日) | 全剣連後援剣道講習会 | 大村市 | シーハット大村 |
| 6 月 2 日~4 日 | 県高等学校総合体育大会剣道競技 | 諫早市 | 森山スポーツ交流館 |
| 6 月 17 日(日) | 県下剣道選手権大会・女子剣道選手権大会 | 諫早市 | 西陵高等学校 |
| 7 月 1 日(日) | 第 48 回県下居合道段別選手権大会 | 大村市 | 大村市武道館 |
| 7 月 14 日(土) | 第 10 回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 | 東京都 | 日本武道館 |
| 7 月 28 日(土) | 県中学校総合体育大会剣道競技 | 佐世保市 | 東部スポーツ広場体育館 |
| 8 月 9 日~12 日 | 第 64 回全国高校総合体育大会剣道競技 | 三重県 | 三重県営サンアリーナ |
| 8 月 19 日(日) | 第 38 回九州ブロック大会 | 鹿児島県 | 霧島牧園アリーナ |

報告・・・H29 年度 中央受審者講習会

平成 30 年 2 月 18 日(日)長崎県立総合体育館(サブアリーナ)において中央受審者講習会(六段、七段、八段)が開催されました。模擬審査は六段、七段、八段に分かれ、4人1組で午前午後に分かれ行われました。また、六段受審者は午後から日本剣道形がありました。中央審査本番と同様に模擬審査が行われ、受審者全員が真剣眼差しで取り組みました。班毎に講師の先生方より指導があり、午前の部、午後の部が終わった時点でグループに分かれ、アドバイスがあり、受講者にとって有意義な講習会でした。

段位審査と教士号・錬士号審査の受講がありました。受講者は八段受 56 名、七段 38 名 六段 33 名 八段講師 10 名 講師補助 6 名 県連役員 3 名 計 146 名



講師: 灰谷達明 剣道教士八段

< 剣道講話内容 講師:長崎県剣道連盟理事 灰谷達明 剣道教士八段 >

離見の見(りけんのけん)

「離見の見」は剣道にも通じるところがある。世阿弥が能楽論書「花鏡」で述べた言葉で演者が自らの身体を離れた客観的な目線を持ち、あらゆる方向から自身の演技を見る意識のことを表す。反対に、自己中心的な狭い見方は「我見(がけん)」といい、これによって自己満足に陥ることを厳しく戒めている。現在でも剣道などの武道や日本の伝統文化全ての演技にあてはまることとして強く意識されている。

五事を正す(ごじをただす)

五事とは「貌、言、視、聴、思」これは、日本の陽明学の祖といわれる近江聖人中江藤樹の大切な教えの一つです。意味は、普段の生活やまわりの人々との交わりの中で、

- ① 「貌」なごやかな顔つきをする ②「言」思いやりのある言葉で話しかける ③「視」澄んだ目で物事を見つめる
- ④ 「聴」耳を傾けて人話を聴く ⑤「思」まごころをこめて相手のことを思いやる

これは人が生まれながらにして持っている正しい心を高める道であるということです。剣道や私達の生活の中でも、いつの時代でも大切に普遍的な言葉だと思います。

三磨の位で師を探し求める

新陰流の「三磨の位で師を探し求めよ」という訓えがあります。いかに恵まれた環境で毎日稽古が可能だったとしても、目的意識に欠けたものであれば、体の運用や竹刀操作の技術は維持向上しても、相手を突き破り自分の志を示すような心・気・力一致の技前を身につけるのは難しい。

蓬草(よもぎ)は直さずして直なり

麻畑に蓬を植えると真上に伸びていく。本来蓬は横に広がるが、麻に負けずと真上に伸びるといふ譬え。昇段審査の是非は目標をもって切磋琢磨することが達成感を得る人間として成長の証とも言える。「目標が高ければ、稽古が苦しいとは思わない」



八段受審者 模擬審査



模擬審査後の指導